

■寄居町三月議会報告

三月の定例町議会では大変重要な来期予算の審議が行なわれました。日本共産党町会議員団の質疑要旨をご紹介します。

三月議会質問の「レックス」

- 格差、発達障害、いじめ等教育問題対策充実を 田母神町議
町の重点施策、教育の諸問題に対応の進化、充実を求めました
教職員の過重負担対策として少人数学級促進を要望
- 家庭ごみ県内最少活動を地域対話促進に… 田母神町議
地域の連携が深まるような活動になるよう希望します
- 学校の遊具、体育器具の安全点検促進を要望… 大澤町議
体育器具等の腐食による事故予防の為、点検促進を要請
- 高齢者が交通弱者にならないよう改善を要望… 大澤町議
デマンドタクシーの当日予約が困難で、利用できないケースがあること事例を示し、運用の改善を求めました



【田母神節子議員の一般質問要旨】

「一との子にも行きとどいた教育を」

町の重点施策の一つである「教育」について進化・充実させるとあります。

(1)子どもへの貧困と教育の格差の拡大がどのように表れていますか。対策及び就学援助の状況を伺います。

【教育長答弁】

学習支援として小学校2、3年生対象の「よりE・放課後塾」、中学3年生対象の「よりE・土曜塾」を行い、児童・生徒の学力保障に努めています。就学援助では、就学援助費補助金の支給対象として2880名の児童生徒を認定しており、全児童・生徒数の約12%となっております。

(2)障がい状況に応じた特別な指導が必要な生徒が増加しています。その対応はどうしていますか。

【教育長答弁】

発達障害が疑われる児童・生徒は全体の6.3%で146名となっております。対策として年2回、スクールカウンセラー等の専門家から教員に指導を受け、小中学校の特別支援学級においてきめ細かな指導が行っております。

(3)小中学校での外国人の児童・生徒の実態及びその対応はどうしていますか。

【教育長答弁】

現在、小・中学校には、12名の外国籍の児童・生徒がいますが、日常会話に大きく不自由する児童・生徒はいません。家庭との連絡では、文書等で伝わりにくく電話連絡となり、苦労があるようです。

(4)小中学校でのいじめ、不登校、暴力行為など生徒指導上の課題及び対策を伺います。

【教育長答弁】



いじめについては、教職員や子どもたちの感度が上がり、昨年度より約23%多く認知でき、解消率は現在98.8%で、100%の解消を目指し努力しています。

(5)教員の時間外勤務の増加と研修時間の減少はどう変わっていますか。ストレスチェックはしていますか。病休の教員はいますか。

【教育長答弁】

(1)近年で大きく時間外勤務が増えたり、研修時間が減少したということはありません。ストレスチェックは実施していませんが、管理職には県主催の「メンタルヘルス研修会」、教職員には「こころの健康講座」への参加を指導しています。病気休暇を取得している教員は現在いません。

◆三十人学級の実現で子どもと向かい合う時間を

夜遅くまで残っている教員の方がいるのは周知のことです。せめて一クラスの人数を減らし、子どもと向かい合う時間を増やすことが必要と考えます。

「一、家庭ごみ排出量最少・県内1位をめざして」

家庭ごみ排出量県内最少1位をめざした取り組みで、ご近所のコミュニティを深めることが出来たら素晴らしいと考えます。

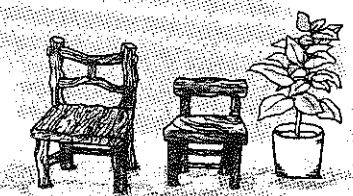
(1)町の家庭ごみ排出の現状についてどのように考えていますか。

【町長答弁】

現状は、平成27年度で、1人1日当たり629gです。目標値は、平成38年度で1人1日当たり578gを目指しています。リサイクル活動団体への助成、フリーマーケットの実施、発生ごみの分別収集による再資源化に努めています。また排出量が多いのが現状です。新たな方策を検討し、積極的にごみの減量化に取り組みたいと考えています。

■先進地に学ぶ町独自の取り組みも必要です

★詳しいことは田母神議員のブログ、大澤議員のホームページにアクセスしてください。田母神節子、大澤博で検索を。



“出張美術館が再びやってきます”
一昨年12月に開催され好評だった出張美術館が前回は上回る展示数で12月に開催されます。国内外の本物を見ることで目の癒し、心の糧を!

【大澤博議員の一般質問要旨】

一、学校の遊具、体育器具の安全点検は進んでいるか

小中学校の校庭に設置された遊具、体育器具等が腐食し、倒壊による児童・生徒が負傷する事故がありました。

(1)対策が必要な遊具、体育器具はどのくらいあるのか、また小中学校別はどうか伺います。

【教育長答弁】

平成24年度の専門業者点検において、計画的修繕を必要との判定を受けた箇所は、小学校で56箇所、中学校で24箇所です。その内、改修済みのものは、小学校で32箇所、中学校で17箇所です。

【再質問】

(裏面に続く)

各学校別の修繕判定箇所と改修済みの箇所は、どうなっているのか伺います。

【教育長答弁】

完了しているのは、寄居小3/9、男衾小9/13、鉢形小7/9、用土小6/9、桜沢小6/11、折原小1/5、寄居中3/7、男衾中8/11、城南中6/6、具体的な場所については、ジャンクルジム、シーソー、鉄棒等があります。

一、高齢者移動手段確保の改善を

高齢者の運転免許証の返納による交通難民が増えています。デマンドタクシーが予約できず診療所まで45分も歩いて、診療所で一休みしてから診察してもらったという高齢者もいます。

(1)当日予約を可能にする台数増加を
(2)デマンドタクシーと同料金で利用できる高齢者乗車証を発行する等高齢者交通対策ができませんか。

【町長答弁】

予約の多くが、当日又は前日の予約で、希望時間帯は、平日の午前中に集中しています。乗合率は5割未満で改善の余地があります。現在のところ台数の増加は考えていません。タクシーの初乗り料金を助成する「高齢者福祉タクシー利用券」を交付しており、提案の高齢者乗車証の発行は考えていません。

【再質問】

平日午前中の乗合率はどのくらいですか、平日の午前中だけでも台数を増やすことができませんか。

【都市計画課長答弁】

平日午前中の乗合率は把握していません。全体の3分の2が午前中で、15〜20%が当日予約です。タクシー会社と協議しましたが、午前中だけの車、運転手の確保は難しく台数の増加は出来ません。
(3)高齢者の移動手段として小型バスによる町内循環交通を設置してはどうでしょうか。

【都市計画課長答弁】

昨年9月に「寄居町の公共交通に関するアンケート」を実施し、その結果、循環バスの運行希望が少ないこと、愛のりタクシーの満足度が高いことなどから、現時点での循環バスの導入は考えておりません。

三、就学前に生徒援助費補助金の支給できないか

(1)入学に必要なランドセル及び制服等購入の為、補助金を就学前に支給できないでしょうか。

【教育総務課長答弁】

埼玉県内で就学前に支給している自治体は1〜2であり、就学前の支給は考えていません。

【再質問】

小学校費、中学校費の要保護及び準要保護児童、生徒援助費補助金の支給時期について伺います。

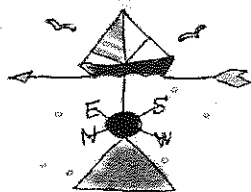
【教育総務課長答弁】

支給時期は、7月、12月、3月です。

■寄居町二〇一七年度一般会計予算への討論

※2017年度一般会計予算に反対しました

田母神節子議員は、日本共産党寄居町議員団を代表し次のように反対討論をいたしました。



『森友学園へ国有地を格安で払い下げ・安倍首相夫人が深く関与』

共産党議員団が独自資料で核心的な証言を引き出す！籠池氏財務省交渉で安倍夫人の関与を示唆と

「森友学園」の小学校建設にあたり、大阪府豊中市の国有地を格安価格で払い下げた問題について、籠池泰典理事長の証人喚問が3月23日、衆参両院の予算委員会で行われました。

■籠池泰典理事長は、借地期間「10年間」を50年に出来ないか等と昭恵夫人に接触を図っています。証言の中で昭恵夫人と森友学園との親密なかかわりが、次つぎと浮かびあがってきました。昭恵夫人が講演に来た時「園長室で付き人を外させ、『どうぞ安倍晋三からです』寄附金として封筒に入った100万円を下さった」と証言し、受け取った後に昭恵夫人から電話で「黙ってて」と要請されたことも明らかにしました。安部首相側が否定しているのに対し「私たちは大変名誉な話なので、鮮明に覚えている」と証言しました。

■日本共産党の小池晃書記局長が参院予算委員会で、財務省近畿財務局、国土交通省大阪航空局、大阪府との交渉の際、昭恵夫人が塚本幼稚園に何度も来ている事や小学校の名誉校長に就任していることを伝えているかとただすと、籠池氏は「もちろん伝えている」と証言しました。小池氏が、こうしたことが「交渉をスムーズに進める上で役立ったか」と確認したのに対し、籠池氏は「相手のとりようだと」答えました。

■背景にある「政治関与」、安部晋三首相夫人・昭恵夫人との深い関係が明らかにされました。民主主義をないがしろにする重大問題として、事実の徹底した検証が必要です。

◆第一に、国政が社会保障等の予算を削減する中、当町では年間所得300万円以下の人が7.2.3%（12173人）となり普通の生活すら困難な人が増加しています。重点施策の一つ「教育」でも、子どもに貧困の格差がひろがっています。就学援助金の受給者割合が、全国平均1.6%に対し1.2%です。所得300万円以下の割合7.2.3%に対比し、必要な人が受けられているのか疑問です。第二子までの給食費の無料化も急がれる課題です。教職員の負担軽減のための施策も見えてきません。

◆第二に、女性の活躍について、役場自体が女性が活躍できる環境になっておらず、能力があるのに課長になれない状況が改善されません。

◆第三は、「健康長寿」では、要介護認定を受ける前の対応が重要で、元気な高齢者でいる為に、地域の福祉委員、民生委員、保健師の連携が必要ですが、このシステムを作る施策がありません。

◆最後に、芸術文化の町としての良さを生かす施策の不足です。鉢形城跡公園、歴史資料館や玉淀、雀宮公園と自然と文化が織り成す情景は寄居町の誇るところです。寄居町と関係の深い文化人も多く、その影響を受けた人の作品等も沢山あります。元保健所を常設のアート展示場に、散策した人たちが絵画や書、写真、陶芸等々を鑑賞し、寄居の魅力に触れ、また来たいと思ってくれるようになるのではないのでしょうか。このような施策が欠けています。

